

板橋区H26年度予算案
認証保育所の所得階層別助成額

所得	助成額
714万円未満	20,000円
887万円未満	15,000円
993万円未満	10,000円
1,079万円未満	5,000円
1,079万円以上	0円

認可保育園 所得別人数

所得	人数	人数(累計)	保育料
200万円未満	1,129 (13%)	1,129 (約13%)	0~1,000円
300万円未満	388 (4.4%)	1,517 (約17%)	~3,500円
500万円未満	2,072 (23%)	3,589 (約41%)	~17,800円
714万円未満	1,701 (19%)	5,290 (約60%)	~24,800円
887万円未満	1,051 (12%)	6,341 (約71%)	~29,500円
993万円未満	695 (8%)	7,036 (約90%)	~34,000円
1,079万円未満	435 (5%)	7,471 (85%)	~38,000円
1,079万円以上	1,363 (15%)	8,834 (100%)	~71,300円

認可保育園と認証保育園の保育料格差

所得	認可保育料	認証保育料	格差
200万円未満	0~1,000円	39,000	38,000
300万円未満	~3,500円	39,000	35,500
500万円未満	~17,800円	39,000	21,200
714万円未満	~24800円	39,000	14,200
887万円未満	~29,500円	44,000	14,500
993万円未満	~34,000円	49,000	15,000
1079万円未満	~38,000円	54,000	16,000
1079万円以上	40,100円	59,000	-


認可保育園と認証保育園の保育料格差

所得	認可保育料	認証保育料	格差
200万円未満	0~1,000円	39,000	38,000
300万円未満	~3,500円	39,000	35,500
500万円未満	~17,800円	39,000	21,200
714万円未満	~24800円	39,000	14,200
887万円未満	~30,500円	44,000	14,500
993万円未満	~35,000円	49,000	15,000
1079万円未満	~39,000円	54,000	16,000
1079万円以上	40,100円	59,000	-

●認可に通う6割が年収714万未満
 ●しかし、区は認証に通う4割(399人)が
 年収714万未満と予想

港区 認証保育所保育料補助金の階層別児童数

所得	人数	%
～200万円	20	3.5
～300万円	5	0.9
～500万円	73	13
～700万円	44	7.7
～900万円	55	9.6
～1000万円	27	4.7
1000万円～	350	61
合計	574	100

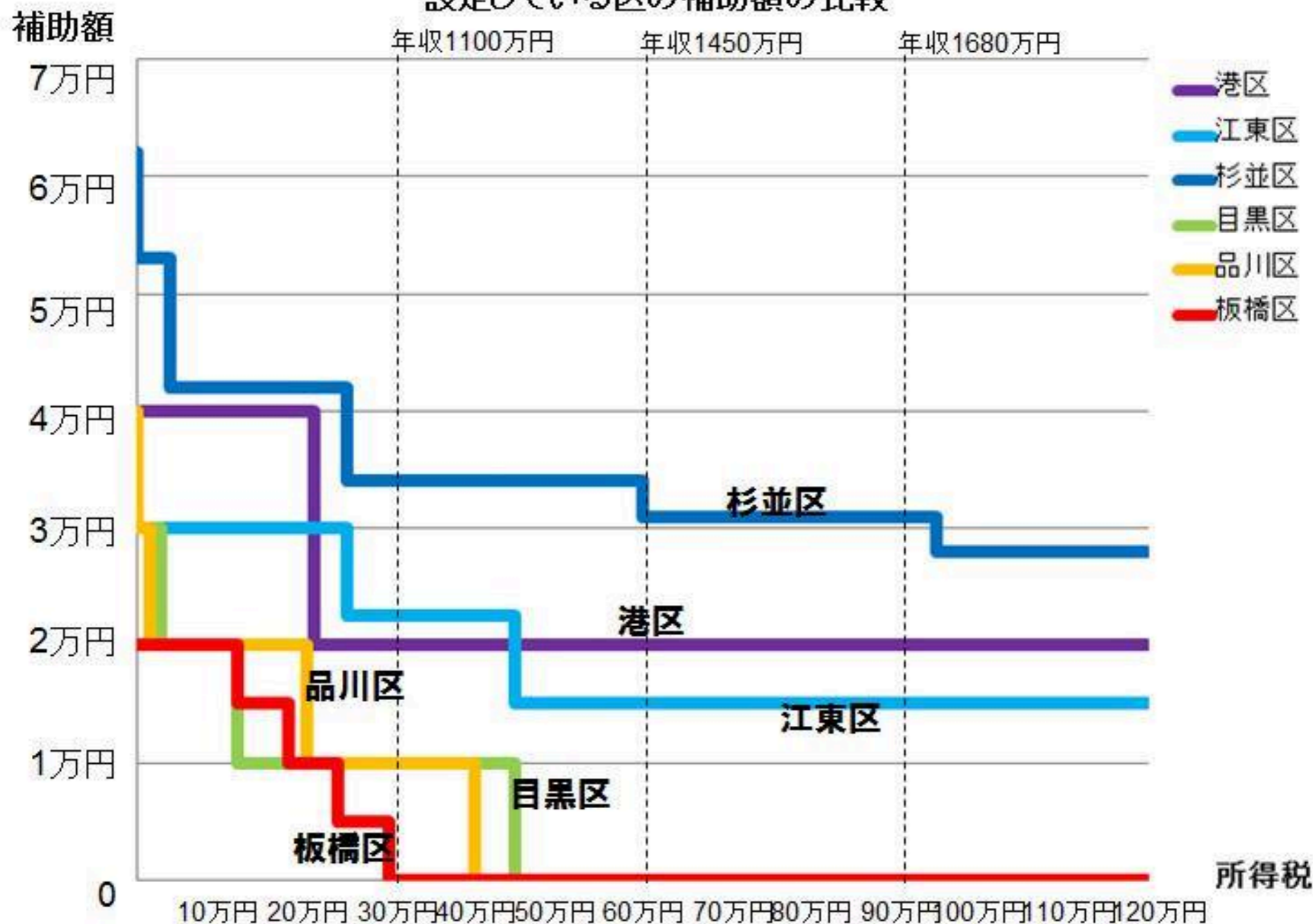


年収700万以下
142人
25%

●所得階層区分に応じ助成している区

	補助額/月
港区	4～2万円
品川区	4万円～0円 ※2歳までは認可との差額を補助
目黒区	4万円～0円
杉並区	6. 7万円～0円 ※H25.10月より改定
江東区	2万円～1万円 ※2人目3万円～1.5万円、3人目以降4万円～2万円
世田谷区	2万円～0円
板橋区	2万円～0円 ※H26年度予算案

所得税階層別に認証保育所保育料補助額を設定している区の補助額の比較



(参考) 多様な主体による生活支援サービスの重層的な提供

○高齢者の在宅生活を支えるため、ボランティア、NPO、民間企業、社会福祉法人等の多様な事業主体による重層的な生活支援サービスの提供体制の構築を支援



- ・介護支援ボランティアポイント等を組み込んだ地域の自助・互助の好取組を全国展開
- ・「生涯現役コーディネーター（仮称）」の配置や協議体の設置などに対する支援

生活支援サービスの提供イメージ

市町村単位の圏域

小学校区単位の圏域

自治会単位の圏域

介護者支援



声かけ

家事援助

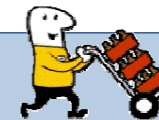
交流サロン

外出支援



コミュニティ
カフェ

食材配達



配食+見守り



安否確認

権利擁護



移動販売



事業
主体

民間
企業

N P O

協同
組合

社会福祉
法人

ボランティア

バックアップ

市町村を核とした支援体制の充実・強化（コーディネーターの配置、協議体の設置等を通じた住民ニーズとサービス資源のマッチング、情報集約等）

➡ 民間とも協働して支援体制を構築

(2) 地域支援事業の充実

市町村による新しい地域づくりの推進(生活支援・介護予防の充実)

- 市町村が中心となってコーディネーターと連携しつつ、生活支援サービスの充実、介護予防の推進等を図ることにより、高齢者が利用可能な多様なサービスが地域で提供される。
- 高齢者の中には事業の担い手となる者も出現。これは介護予防にもつながる。
⇒ 高齢者を中心とした地域の支え合い(互助)が実現。

市町村が中心となって企画・立案

生活支援・介護予防の充実

地域資源の開発

(例)

- ・ボランティアの発掘・養成・組織化

→ ボランティアは生活支援・介護予防の担い手として活動。高齢者の困り事の相談の対応等も実施。(コーディネーターとも連携)

- ・生活支援・介護予防の立ち上げ支援

多様な通いの場

(例)

- ・サロン
- ・住民主体の交流の場
- ・コミュニティカフェ
- ・認知症カフェ
- ・ミニデイサービス
- ・体操教室
- ・運動・栄養・口腔ケア等の教室

多様な生活支援

(例)

- ・ゴミ出し
- ・洗濯物の取り入れ
- ・食器洗い
- ・配食
- ・見守り
- ・安否確認

研修を受けたボランティアが地区の集会所で介護予防教室を運営。

小規模多機能居宅介護に交流施設を併設。地域のサロンとして活用。子どもとの交流も実施。

研修を受けたボランティアが高齢者と一緒に洗濯物を取り入れる等生活行為の自立を支援。

地域活性化を推進するNPOが地域に配食サービスを展開。

交番、金融機関、コンビニ等幅広い関係機関が連携し、認知症の高齢者の見守り体制を構築。

連携・協力

コーディネーター

参加・活用
(担い手となる
高齢者も出現)

支援を要する高齢者

小布施若者会議



小布施 Obuse
若者 Youth
会議 Conference

小布施から日本一の
クリエイティブ会議を目指して！

Obuse X Youth

2012.9.7 [Fri] - 9.9 [Sun]

会場：小布施町総合体育館
小布施町公民館1号館

2012 ZOO入館料 無料

小布施町公民館1号館1階特別利用室

<http://obuse-conference.jp>

小布施まちじゅう図書館

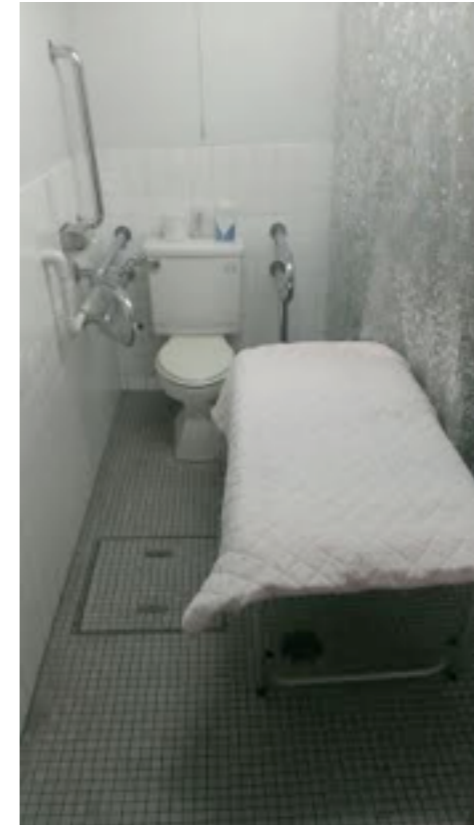


既存施設への簡易な大人用ベッドの設置について

西台図書館



高島平健康福祉センター



高島平地域センター



高島平図書館



既存施設への簡易な大人用ベッドの設置について

成増図書館



徳丸地域センター



いたばし総合ボランティアセンター

